

設計から施工までを少数精鋭で手掛ける 建築会社の効率化にRPT600が貢献

株式会社 浜田組様



課題は時間の短縮。

**ワンマンで墨出し出来るから
施主との打ち合わせに時間が
持てるようになった。**

山口県下関市に本拠地を構える浜田組様は創業から60年を迎える地場でも有数の歴史ある建設会社で、元々は木造の建物を請け負っていたが、現在は住宅から病院の改修・増築など幅広い業種を3人体制で請負されている。少数で多現場を管理するための効率化にTrimble RPT600が役立っていると聞いて山口県下関市の現場で、常務取締役の濱田 亘様にお話を伺った。



株式会社 浜田組
常務取締役 濱田 亘様

Q) ご多忙だとお聞きしましたが、
運営状況をお聞かせください

A) 基本的に現場を持っているのは1人で、常に2現場を同時に請け負っています。固定客が多くリフォームを含め様々な依頼が随時あり、対応にかなり時間が取られてしまいます。病院のリフォームが仕事量としては多い状況ですが、今後は住宅建築も増やしたいと考えています。

Q) 設計は外注されているのでしょうか

A) 現場の規模によって違います。自分が設計も担当していますが、大きな現場だと外注することもあります。先日RCの大型住宅を請け負いました。施主の方を交えた打ち合わせが多くユーザーの思いを感じながら仕事をすることが出来ました。短い工期で施主様の希望通りに仕上げるためにRPT600が役に立ちました。

Q) どういう経緯でRPT600を知ったのですか

A) 当社は少数体制と言う事もあり、これまで墨出しをする際に人数が足りず大変でした。もう少し速くできるものはないかとツールを探していました。一度試しに光波（トータルステーション）を使ってみて便利だと感じたのですが、光波を使う器機は相手が必要ですね。一人では無理だと思っていたところで、カタログにワンマンで作業可能と書いてあるRPT600を見つけました。

2倍近くの効率化が達成できている。業務に必要な計測作業が一人で出来るので2現場が同時に進行できる。

Q) 現場での使用感を教えてください

A) 今まで杭芯の測定は測量会社に外注していたのですが、杭芯ずれなど実際は出てこないし、出てはこちらが合わせていくので外注がもったいないと思っていました。RPT600で十分杭芯が出せるので購入してからは外注せず自分で行っています。



ユーザー導入事例



Q) どれくらい現場作業を効率化しているのでしょうか

A) リフォームの場合、乗り入れの時に初期値をまずあたります。既存の建物の位置を確認（図面の書き出し）する際に、一人でRPT600を使用して作業できています。墨出しについてはこの器機での一本化はまだしていないのですが、だいたいの位置を効率よく出すことができるので活用しています。2現場を同時にこなすことが出来ているので効率は2倍近くあるのではないかと考えています。一人で現況を出すことができ、杭芯の位置出しや捨てコンを出す作業に効率化が来ています。



『なにより測量会社に外注する必要がなくなっているのが有難いです。現場によって計測数値の確認が必要な場面もありますが、自身で効率よく墨出しができることで、外注先を待つことなく、作業をスピーディーに行え、工期にも貢献できていてとても役立っています。我々のように少ない人数の会社にとって武器になりますね。』

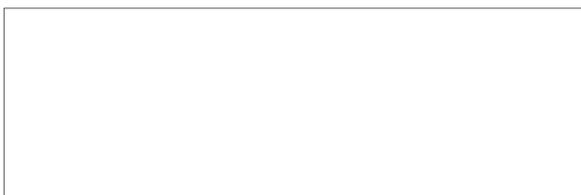
取材先

株式会社 浜田組
常務取締役 濱田 亘様

取材協力

株式会社 NTJジオテックス
広島営業所

組織名・役職は2022年9月取材時のものです。



*Trimble及び地球儀と三角のロゴは、米国Trimble社の登録商標です。
*その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標及び商標です。

株式会社 **ニコン・トリンブル**

<http://www.nikon-trimble.co.jp/>

ビルディングソリューション推進部
144-0035 東京都大田区蒲田 2-16-2
テクノポート大樹生命ビル
tel.(03)3737-9411



ビルディングHP



Facebook



Youtube